

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）					<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課産業技術課					
		実施期間	S60 ～	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp					

### 1 現状と課題

- ・地域産業の持続的な発展のため、新商品開発や効果的なPR等により、付加価値の向上とブランド力を強化していく必要がある。
- ・伝統的工芸品産業は、需要の減少や、後継者不足等により悪循環に陥っている。
- ・環境意識の高まり、インバウンド需要、高い技術力の再評価等国内外で伝統的工芸品が再注目されつつあるが、県内外の伝統的工芸品は認知度が低い現状がある。

### 2 事業目的

地域資源の高付加価値化や伝統的工芸品の振興を図り、地域産業の活性化を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①地域資源の利活用企画・商品化支援  
当初予算のとおり
- ②伝統的工芸品のファンの拡大、後継者の確保・育成、売上の拡大支援  
当初予算のとおり
- ③インバウンドの活用・海外展開を見据えた新商品開発支援  
・商品開発研究会に係るコーディネートを担う企画推進員に係る経費の執行見込を踏まえた減額  
※その他の事業は当初予算のとおり

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	地域資源の利活用企画・商品化件数	件	15		9	↘	13	↗	20		月1～2件を支援し、年間20件の利活用支援・商品化を目標とする。
②-1	展示販売会出展産地数	件	47		36	↘	41	↗	35		県下の伝統的工芸品1産地あたり1回以上の出展を基準に、過去2年の実績を踏まえて目標値を設定。
②-2	技術伝承講習会参加者数	者	81		68	↘	88	↗	70		過去2年と同水準の後継者育成支援を実施することを踏まえ、目標値を設定。

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサボながの(地域資源製品開発支援センター)による支援件数(2023～2027年度の累計)	件		-	2023 (R5)	121	2024 (R6)	231	2027 (R9)	450
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサボながの(地域資源製品開発支援センター)の支援による商品化件数(2023～2027年度の累計)	件		-	2023 (R5)	9	2024 (R6)	22	2027 (R9)	100

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)		
R7年度	0	41,470	△ 1,502	△ 1,502	39,968	34,742	4.5
R6年度	0	50,068	△ 1,400		48,668	38,617	4.5
R5年度	0	36,917	0		36,917	26,387	4.5

事業番号	07 04 02	細事業一覧（令和 7 年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域産業の活性化事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課産業技術課		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	地域資源製品開発支援センター事業費		14,062 千円	15,478 千円	予算現額 14,717 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援 総合プロデューサー 1 名配置、支援件数90件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
2	伝統的工芸品支援事業費		684 千円	684 千円	予算現額 684 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担金	伝統的工芸品の普及、PRを図るため、伝統的工芸品月間（11月）を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手と使い手が直接対話、交流できる場を設置 【全国大会：東京都・大阪府、地区大会：東京都（負担先：伝統的工芸品産業振興協会、関東ブロック伝産・文化協議会）】 負担金により開催されるイベント：2 か所		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
3	伝統的工芸品産業地域内循環支援事業		4,000 千円	2,400 千円	予算現額 800 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県内企業等の伝統的工芸品を活用した取組を支援	補助金	伝統的工芸品の活用促進を図るため、県内企業等が取組む、伝統的工芸品を活用した魅力発信に対し補助 補助件数：8 件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
4	長野県伝統的工芸品産業振興審議会運営事業		281 千円	281 千円	予算現額 281 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	審議会の運営	直接	伝統的工芸品産業の振興に関する重要事項について調査審議し、産業労働行政に反映させるため、伝統的工芸品条例の規定に基づき、審議会を開催 審議会開催回数：1 回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
5	伝統的工芸品産地育成伴走支援事業		8,057 千円	10,857 千円	予算現額 9,077 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	技術伝承講習会	委託	伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図るため、伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技能者等を講師とした技術伝承講習会を開催 講習会開催回数30回		
2	新規就業者の定着促進支援	補助金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成 補助事業者数：3事業者		
3	展示販売会等開催・出展支援	委託	伝統的工芸品への関心を高めるため、長野県伝統工芸品展の開催や、信州ハンドクラフトフェスタへの出展を支 開催数：2回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
6	伝統的工芸品産業産地留学等支援事業		— 千円	— 千円	予算現額 5,413 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	インターンシップの開催	委託	後継者の発掘を図るため、伝統的工芸品産業事業者の工房でインターンシップを開催 インターンシップ実施産地数：1産地		
2	産地留学の開催	委託	伝統的工芸品産地関係者の増加を図るため、大学生や様々な職業の社会人を対象に産地での体験機会をアレンジ 産地留学開催産地数：1産地		
3	技術PRツール作成	委託	伝統的工芸品の特長的な技術（コア技術）について、映像等で見える化を行い、伝統的工芸品に興味を持つ人材へのPR 見える化実施産地数：1産地		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
7	伝統的工芸品スクール事業		— 千円	— 千円	予算現額 1,511 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品スクール事業	委託	STEAM教育用の教材を作成し、若年層の伝統的工芸品へのタッチポイント創出 教材開発：1産地		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
8	伝統的工芸品産業稼ぐ力向上事業		— 千円	— 千円	予算現額 7,485 うち今回 補正額 △ 1,502 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	マッチングセミナー開催	委託	様々な業種の企業を対象として、伝統的工芸品の技術等について知ってもらうセミナーを開催 セミナー参加社数：10社		
2	商品開発研究会開催	委託	他企業や専門家等を交えた研究会を立ち上げ、国内外で評価される伝統的工芸品の新商品を企画（ <u>執行見込に伴う減額</u> ） 商品開発産地数：1産地		
3	販売体制・PR体制構築	委託	伝統的工芸品事業者のECサイト導入に向けた勉強会を開催 勉強会開催回数：1回		